



## 福井県がん委員会運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課		課長名	宮下 裕文			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S60 年度 経過年数 35 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	-														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献 ]				関連する県の計画等		[ 第3次福井県がん対策推進計画 ]								
[事業目的]															
第3次福井県がん対策推進計画に基づき、がん予防、がん検診、がん治療や相談支援、がん登録などの総合的ながん対策を協議するがん委員会を開催する。また、がん委員会委員を含むがん検診推進医によるがん検診の指導や精度管理および効果的な受診勧奨により、がん検診の質および受診率向上を図る。															
[事業内容]															
<p>(1) がん委員会・部会の開催（年2回） 1, 339千円</p> <p>①概要 ・平成30年3月に策定した「第3次福井県がん対策推進計画（30年～35年）」に基づき、総合的ながん対策の協議を行う場としてがん委員会および部会を開催</p> <p>・「第3次がん対策推進計画」の進捗管理を行い、新たな課題等に対し、随時協議し必要な施策を進める。</p> <p>また、平成33年には中間評価を行い、現状に沿った計画の見直し、必要な施策を協議する。</p> <p>②組織 がん委員会、予防部会、検診部会、治療・相談支援部会、登録部会</p> <p>(2) がん検診推進医研修会・推進医活動費 359千円</p> <p>・個別検診機関の医師をがん検診推進医に委嘱し、持病で受療中の患者等に対するがん検診受診の指導およびがん検診従事者に対する効果的な受診勧奨方法等を指導・助言。推進医には、最新のがん情報を提供するための研修会を開催。</p> <p>・平成29年度から、特に受診率の低い20歳代の受診率向上を図るため、推進医による大学生を対象とした知識の普及および受診勧奨を強化。</p>															
[受益者]						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況		がん検診、たばこ対策は市町が健康増進法に基づき実施市町担当者ががん委員会・各部会の委員として参画							
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価							
がん委員会 2回開催（9月、3月） 各部会 各1回開催（8月～2月） がん検診推進医研修会 1回（3月） がん検診推進活動 12回								<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 55				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 福井県がん委員会運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下 裕文					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	S60 年度 経過年数 35 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	-															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	1,698	179			1,519		感染症予防事業費等国庫(負担)補助金									
(単位：千円)																
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点									
当初予算額の推移		2,215	1,773	1,783	1,753	1,698										
2月現計予算額の推移		2,215	1,773	1,783	1,753											
決算額の推移		1,720	1,268	1,405												
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	がん検診受診率	(目標) 49.7%	(50.0%) 50.9%	(50.0%越) 51.2%	(50.0%越)	(50.0%越)	第3次福井県がん対策推進計画(H30~35) がん検診受診率 各部位50%									
活動指標	がん委員会開催	(目標) 2	(2) 2	(2) 2	(2)	(2)										
他県の状況	健康診査管理指導等事業実施のための指針に基づく生活習慣病検診等管理指導協議会として設置					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								

## 働く女性のための休日がん検診推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下 裕文	
事業主体	県、市町、個別検診機関				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H26 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度	
事業実施方法	直営											
補助率	-											
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献 ]				関連する県の計画等		[ 第3次福井県がん対策推進計画 ]					
[事業目的]												
平日は仕事や育児などで忙しい女性に対し、土日に女性のがん検診を実施することにより、働く女性のがん検診受診促進を図り、受診率の向上を目指す。												
[事業内容]												
○休日検診「休日レディースがん検診」の実施 ①市町（各市町が年1回ずつ集団検診を追加実施） 計年17回  ②個別検診機関（休日検診日を設置） 子宮頸がん検診機関 29機関、乳がん検診機関 19機関  ○休日検診の広報 県は、市町や個別検診機関、健康福祉センターと協働し、休日検診「休日レディースがん検診」の広報を行う。												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況		市町は、通常の集団検診に加え、年1回以上の休日集団検診を実施 県と市町が協働して住民への周知、受診勧奨を行う。				
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価				
個別検診機関の廃止や集団検診の回数を減らしたが、メディアと連携した広報や企業への直接の勧奨を行い、H29受診者は4,985人と目標の5,000人をほぼ達成（子宮頸がん検診機関1機関が廃院、集団検診をH28:32回からH29:30回に減少）				予算を使わず実施していくため、事業廃止				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 146	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 働く女性のための休日がん検診推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下 裕文			
事業主体	県、市町、個別検診機関				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	-					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	0	0			0		疾病予防対策事業費等補助金							
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点							
当初予算額の推移		146	146	146	146	0	予算を使わず実施していくため、事業廃止							
2月現計予算額の推移		146	146	146	146									
決算額の推移		146	144	117										
前年度までの 主な増減理由	26年度は、休日レディースがん検診を周知するための幟旗を作成													
[成果指標等の推移]														
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	子宮頸がん検診受診者数	(目標)	(5,000)	(5,000)	(5,000)	(5,000)	(5,000)							
	乳がん検診受診者数	実績	4,831	5,096	4,985									
活動指標	集団検診回数	(目標)	(29)	(29)	(29)	(18)	(18)	子宮頸がん検診は特に医療機関での個別検診希望者が多いため、集団検診としては、他のがん検診も同時に受診できる点で需要が高い市町集団検診に集約し、健康福祉センター単位での広域集団検診12回は29年度で終了。未受診者の受診機会として年度末3月に「ひな祭り検診」と称し、広域集団検診を実施						
		実績	29	32	29									
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

## がん検診受診者拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文	
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H20 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度
事業実施方法	補助											
補助率	国1/4、県1/4、市町1/2											
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献 ]				関連する県の計画等		[ 第3次福井県がん対策推進計画 ]					
[事業目的]												
がんの早期発見・早期治療のため、市町が行う効果的な受診勧奨を支援し、がん検診受診率および精密検査受診率の更なる向上を図る。												
[事業内容]												
<p>① ピロリ菌等検査 血液による胃がんリスク検査（ピロリ菌抗体検査・ペプシノゲン検査）を実施する市町に対し、検査費の一部を補助</p> <p>②-1 受診意向調査（H30～） 受診意向調査を実施する市町に対し、意向調査にかかる経費（印刷製本費・通信運搬費）を補助</p> <p>②-2 がん検診受診意向調査後、啓発案内を通知（H30～） 意向調査後、対象者に対する啓発にかかる経費（印刷製本費）を補助（個々に応じたタイプ別の啓発にかかる経費）</p> <p>③ 受診券の作成・発送 受診券の作成・発送にかかる経費（印刷製本費・通信運搬費）を補助</p> <p>④ 要精検対象者に対する啓発案内通知（H30～） 対象者に対する啓発案内通知にかかる経費（印刷製本費・通信運搬費）を補助</p> <p>※①と②は市町がどちらかを選択</p>												
[受益者] がん検診受診希望者						[想定される受益者数] 約33万人						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況		市町が実施主体の事業であり、更なる受診率向上のため、県が 所要の補助を行っている。				
[事業の評価]												
前年度の実績			実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価					
市町の受診券発行の拡大とともに、市町のがん検診受診率も着実に 向上している。			市町が実情に応じて意向調査とピロリ菌検査を選択できるよ うピロリ菌等検査に係る補助を集約する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
							<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 9,482		
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## がん検診受診者拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文				
事業主体	市町					事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H20 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度
事業実施方法	補助														
補助率	国1/4、県1/4、市町1/2														
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	25,529	9,512				16,017		感染症予防事業費等国庫(負担)補助金							
[予算額の推移等]												(単位：千円)			
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点								
当初予算額の推移		12,909	12,719	12,728	35,011	25,529	市町が実情に応じて意向調査とピロリ菌検査を選択できるようピロリ菌等検査に係る補助を集約する。								
2月現計予算額の推移		9,957	11,056	10,972	23,855										
決算額の推移		9,358	10,212	9,665											
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	がん検診受診率 (70歳未満)	(目標) 実績	(48.5%) 49.5%	(50.0%) 50.9%	(50.0%超) 51.2%	(50.0%超)	(50.0%超)	第3次福井県がん対策推進計画(H30~35) がん検診受診率 各がん50%超							
活動指標	受診券発行数	(目標) 実績	(339,724) 286,011	(324,222) 321,019	(278,565) 293,159	(314,949)	(287,615)	受診券発行対象者数は前々年度実績より算出							
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							

## 市町がん検診受診率アップ推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文			
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H20 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度
事業実施方法	補助													
補助率	県1/2、市町1/2													
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献 ]				関連する県の計画等		[ 第3次福井県がん対策推進計画 ]							
[事業目的]														
市町のがん検診受診者増の取組みを促進するため、増加分に応じた補助を行い、積極的に受診率向上を図る市町を支援する。														
[事業内容]														
市町が実施する対策型がん検診において、従前より受診者を増やした場合、受診経費の一部を補助する。														
[受益者] 5がん（胃、肺、大腸、子宮、乳）検診対象者						[想定される受益者数] 約124万人								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)					市町との連携状況	市町が実施主体の事業であり、更なる受診率向上のため、県が所要の補助を行っている。							
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価						
受診券発行枚数の増加や休日レディースがん検診の実施により、市町検診を含め、着実に受診率が向上している。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				



## 市町がん検診受診率アップ推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文	
事業主体	市町					事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H20 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)
事業実施方法	補助											
補助率	県1/2、市町1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,252				3,252							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点					
当初予算額の推移		17,704	19,851	22,710	2,606	3,252						
2月現計予算額の推移		24,656	21,081	22,710	2,606							
決算額の推移		24,656	20,863	17,554								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	がん検診受診率 (70歳未満)	(目標) 49.5%	(50.0%) 50.9%	(50.2%) 51.2%	(50.0%超)	(50.0%超)	各がん種ごとに50%超					
活動指標		(目標)					事業の性質上、活動指標を設定することが困難					
他県の状況	なし					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

## 元気長生きがん予防推進事業（普及啓発事業）

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課		課長名	宮下裕文
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H15 年度 経過年数 17 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献 ]				関連する県の計画等		[ 第3次福井県がん対策推進計画 ]					
[事業目的]												
がん検診の意義と内容について啓発し、1人でも多くの県民ががん検診を受けるようにする。												
[事業内容]												
<p>(1) がん検診記念日キャンペーン 子宮の日（4月9日）、母の日（5月）、父の日（6月）などの記念日にショッピングセンター等でキャンペーンを実施</p> <p>(2) がん検診受診勧奨パンフレット作成 がん征圧月間（9月）、がん検診集中キャンペーン（10月）等の機会を活用して、がん検診の種類、内容、受診方法等を啓発するパンフレットを作成</p>												
[受益者] 県民						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)				市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績			実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価					
従来のショッピングセンター等での普及啓発活動に加え、保険会社や協会けんぽのイベントに参加し、普及機会を拡充するとともに、テレビや情報誌等でPRすることにより、がん検診受診率の着実な向上を図った。			マスメディアキャンペーンの中止				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
							<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 648		
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## 元気長生きがん予防推進事業（普及啓発事業）

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文			
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	H15 年度 経過年数 17 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	378		189			189		感染症予防事業費等国庫（負担）補助金						
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点						
当初予算額の推移			1,728	1,080	1,080	1,026	378	マスメディアキャンペーンの中止						
2月現計予算額の推移			1,728	1,080	1,080	1,026								
決算額の推移			1,709	1,018	1,057									
前年度までの主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	がん検診受診率 (70歳未満)	(目標)	(48.5%)	(50.0%)	(50.0%超)	(50.0%超)	(50.0%超)	第3次福井県がん対策推進計画（H30～35） がん検診受診率 各がん50%超						
		実績	49.5%	50.9%	51.2%									
活動指標	イベント等での普及活動	(目標)	—	—	—	—	—							
		実績	14	20	19									
他県の状況						関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）						

## がん診療連携拠点病院機能強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文	
事業主体	がん診療連携拠点病院				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H18 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度
事業実施方法	補助							<input checked="" type="checkbox"/> 補助金	経過年数	14 年		
補助率	国1/2、県1/2							<input type="checkbox"/> その他				
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献 ]				関連する県の計画等		[ 第3次福井県がん対策推進計画 ]					
[事業目的]												
<p>地域のがん医療を中核的に担うがん診療連携拠点病院が行う病院機能強化に必要な経費を国とともに助成し、居住する地域に関わらず質の高いがん医療を等しく受けられる体制を整備する。</p>												
[事業内容]												
<p>国の「がん診療連携拠点病院の整備に関する指針」に基づき、福井県立病院、福井大学医学部附属病院、福井県済生会病院、福井赤十字病院、国立病院機構敦賀医療センターを「がん診療連携拠点病院」として指定。(平成18年度) これらの病院のうち、福井県立病院、福井県済生会病院、福井赤十字病院に対し、普及啓発、がん医療従事者研修、がん相談支援等の事業に要する経費に対する補助を実施。</p>												
[受益者] 県内のがん患者						[想定される受益者数] 6,800人(平成23年患者調査)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況	なし						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価				
医療従事者に対する研修会の開催、市民への普及啓発、就労支援を含めたがん相談支援事業の実施により、拠点病院に必要な機能強化に寄与している。				各病院の実績に応じて補助金額を調整				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 135	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## がん診療連携拠点病院機能強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文		
事業主体	がん診療連携拠点病院					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H18 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度
事業実施方法	補助												
補助率	国1/2、県1/2												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	43,764	21,882				21,882	感染症予防事業費等国庫（負担）補助金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点						
当初予算額の推移		50,778	44,102	43,900	43,899	43,764	各病院の実績に応じて補助金額を調整						
2月現計予算額の推移		40,660	44,102	43,900	43,899								
決算額の推移		35,972	43,302	42,489									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	相談件数	(目標)	(6,800)	(6,800)	(6,800)	(6,800)	(8,000)	実施計画書を基に目標件数を算出					
		実績	6,192	6,756	5,142								
活動指標	がん医療従事者研修開催数	(目標)	(14)	(14)	(15)	(15)	(15)	実施計画書を基に目標件数を算出					
		実績	33	39	35								
他県の状況	国の交付要綱に従い、各がん診療連携拠点病院に対して補助を実施					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

## がん専門医育成・医師派遣体制構築事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下 裕文			
事業主体	福井大学医学部附属病院				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	寄附													
補助率	-													
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢 ]				関連する県の計画等		[ 第3次福井県がん対策推進計画 ]							
[事業目的]														
がんの診断・治療に欠かせない「病理専門医」、「がん薬物療法専門医」、「放射線治療専門医」は全国的にも本県においても不足していることから、県内におけるがん専門医の育成・確保を図る。														
[事業内容]														
①福井大学医学部に寄附講座「がん専門医育成推進講座」を設置し、がん専門医を育成する。また、がん診療連携拠点病院間で連携し、合同研修会や症例検討会の開催など育成環境を整備する。 ②育成後に、がん専門医が不足する県内のがん診療連携拠点病院等へ派遣する。														
[受益者] がん専門医を目指す医師						[想定される受益者数] 16人								
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 がん専門医育成推進事業 (実績) 県内の3分野の専門医が分野ごとに、専門医を目指す医師を確保するための取組みの検討や合同シンポジウムの開催、育成プログラムの作成、人的ネットワークを構築				市町との連携状況								
[事業の評価]														
前年度の実績			実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価							
講座参加者 13人 内、専門医資格取得者 3人			夏休みを利用した病院見学や実習が県内専門医と直接関わることで、より各分野への意向が高まるため継続する。県内専門医が同行して各学会やセミナーに参加させ、最新情報や他県の状況、他病院医師との交流を深めることで関心を高め講座への参加を促す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## がん専門医育成・医師派遣体制構築事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下 裕文		
事業主体	福井大学医学部附属病院					事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31 年度
事業実施方法	寄附												
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	19,475			19,475			地域医療介護総合確保基金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点						
当初予算額の推移		19,475	19,475	19,475	19,475	19,475							
2月現計予算額の推移		19,475	19,475	19,475	19,475								
決算額の推移		19,475	19,475	19,474									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	資格取得医師数	(目標) (1)	(1)	(1)	(1)	(1)	がん専門医を5年間(平成31年度まで)で5人育成						
		実績 1	1	2									
活動指標	講座参加医師数	(目標) (5)	(8)	(8)	(8)	(8)							
		実績 7	11	13									
他県の状況	無し					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

## がん患者相談支援推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文		
事業主体	県看護協会、がんの子どもを守る会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度	
事業実施方法	委託								□ 法定受託事務	第3次福井県がん対策推進計画			
補助率	-												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献 ]				関連する県の計画等		[ 第3次福井県がん対策推進計画 ]						
[事業目的]													
がん患者や家族等の治療等への不安を軽減するために、身近な地域の中で気軽に相談できる窓口や患者サロンを開設する。また、がん治療体験者の立場からがん患者等を支援するピアサポート研修、小児がん患者や家族の支援を実施する。													
[事業内容]													
①がん患者まちなか総合相談窓口の開設 地域の中に気軽に相談ができる窓口の開設													
②がん患者サロンの開設 地域の中にがん患者等が悩みや体験を共有し、互いに支え合うサロンの開設、出張相談・サロンの実施													
③がん患者ピアサポート研修の実施 がん治療体験者が、その経験を生かした相談支援活動（ピアサポート）を行うために必要ながんの知識や実際の相談対応技術等を習得する研修を実施													
④小児がん患者・家族の支援 小児がん患者が遊び等を通して安心して治療に臨めるよう支援するとともに兄弟や保護者等に対してもサロンや個別相談を実施													
[受益者]						[想定される受益者数]							
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)				市町との連携状況		市町と連携し、事業の周知を図っている。 また、拠点病院のない地域では、出張相談・サロンを実施。					
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価					
小児がんを含めたがん患者やその家族等の治療等への不安を軽減している。				小児がん患者・家族の支援として、夏祭りなどのイベントボランティアに対し、院内での活動に必要な予防接種費用を助成				□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	△ 206		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他			



## がん患者相談支援推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文			
事業主体	県看護協会、がんの子どもを守る会				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度
事業実施方法	委託													
補助率	-													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,700	850			850	感染症予防事業費等国庫（負担）補助金								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点							
当初予算額の推移		2,222	2,083	2,083	1,906	1,700	小児がん患者・家族の支援として、夏祭りなどのイベントボランティアに対し、院内での活動に必要な予防接種費用を助成							
2月現計予算額の推移		2,222	2,083	2,083	1,906									
決算額の推移		2,187	2,033	1,826										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	各サロンで支援した人数	(目標) —	—	(36)	(36)		1回、参加者6人×6回 (H29までの実績：1回約6人)							
		実績 —	—	34										
活動指標	サロンの開催回数	(目標) —	—	(6)	(6)									
		実績 —	—	6										
他県の状況	石川県（平成25年6月 がん安心生活サポートハウス開設） 富山県（平成25年9月 がん総合相談支援センター開設） その他、23都道府県でも拠点病院以外のがんに関する相談窓口を設置					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)						

## がん検診受診実態調査

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課		課長名	宮下裕文			
事業主体	県医師会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	H19 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H35 年度			
事業実施方法	委託												□ 法定受託事務	□ 補助金	□ その他
補助率	—														
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献 ]				関連する県の計画等		[ 第3次福井県がん対策推進計画 ]								
[事業目的]															
県民のがん検診受診実態を明らかにするため、県内医療機関等における主要がん検診（胃、肺、大腸、乳、子宮がん、その他の新たながん検診）受診状況調査を実施する。															
[事業内容]															
県内各医療機関および検診機関において実施している主要がん検診の受診者数調査を実施する。															
(1) 調査方法 委託先：福井県医師会															
①がん検診実施の医療機関および検診機関においてカルテ等からデータを抽出し、各がん検診受診者数を集計、結果を医師会へ報告															
②福井県医師会で、各医療機関および検診機関からの報告を集計、結果を県へ報告															
(2) 調査内容															
胃がん (50歳以上 男性・女性)															
肺、大腸がん (40歳以上 男性・女性)															
乳がん (40歳以上 女性)															
子宮がん (20歳以上 女性)															
その他の新たながん検診 (40歳以上 男性・女性) についての男女別・年代別受診者数															
(3) 調査対象年度 平成30年度															
(4) 調査時期 平成31年6月															
[受益者] 県民						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価							
平成29年度の職域におけるがん検診の実施状況について、県内全がん検診実施機関に対して調査を実施 年度当初に速やかに受診率の算定ができるよう委託先と調整し、期日内に100%の調査結果の回収ができています。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## がん検診受診実態調査

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文		
事業主体	県医師会					事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H19 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H35 年度
事業実施方法	委託												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,500				1,500								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点						
当初予算額の推移		1,500	1,500	1,500	1,500	1,500							
2月現計予算額の推移		1,500	1,500	1,500	1,500								
決算額の推移		1,500	1,500	1,500									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	(目標) 実績						速やかに受診率の算定ができるよう、期日内に100%の調査結果を回収						
活動指標	調査回数 (目標) 実績	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1)	(1)							
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					

## がん患者アピアランスサポート事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下 裕文			
事業主体	がん患者				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度	
事業実施方法	補助								<input checked="" type="checkbox"/> 補助金					
補助率	定額								<input type="checkbox"/> その他					
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献 ]				関連する県の計画等		[ 第3次福井県がん対策推進計画 ]							
[事業目的]														
がん治療による副作用等で起こる容姿の変化に悩むがん患者は数少なくない。治療による容姿の変化を補い、就労や社会参加を応援するため、医療用ウィッグ（かつら）や補整下着の購入費を補助し、がん患者の心理的負担を軽減するとともに、療養生活の質の向上を図る。														
[事業内容]														
がん治療に伴う脱毛等により補整具（ウィッグ・補整下着等）が必要ながん患者の補整具購入経費を1回に限り補助 ① 対象者：福井県内に住所を有する方で、がんと診断され、その治療を行っている方 ② 補助対象：1年以内に購入した補整具 ③ 補助金額：ウィッグや補整下着等の購入経費（上限10,000円） ④ 必要な書類：がん治療を受けていることを証する書類（診療明細書、お薬手帳等） 補整具を購入したことを証する書類（領収書等）														
[受益者] がん治療による容姿の変化に悩むがん患者						[想定される受益者数] 350人								
前事業の有無・実績		■ 無 □ 有 事業名 (実績)				市町との連携状況			—					
[事業の評価]														
前年度の実績					実績を踏まえた31年度の変更点					事業評価				
H30.9月末時点 補助申請者計 119人 うち ウィッグ 88人 胸部補整具 11人 その他 20人					平成30年9月末までの実績を基に算出					<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
										<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 1,500	
										<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## がん患者アピアランスサポート事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下 裕文			
事業主体	がん患者				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度
事業実施方法	補助													
補助率	定額													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	3,533				3,533									
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点							
当初予算額の推移		—	—	—	5,033	3,533	平成30年9月末までの実績を基に算出							
2月現計予算額の推移		—	—	—	3,273									
決算額の推移		—	—	—										
前年度までの 主な増減理由		—												
[成果指標等の推移]														
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	当事業の利用者	(目標)	—	—	—	(500)	(350)							
		実績	—	—	—									
活動指標	治療による容姿の変化に 悩むがん患者への周知人 数	(目標)	—	—	—	(1,000)	(1,000)							
		実績	—	—	—									
他県の状況	山形県 ウィッグに限定した購入費助成事業を実施 (H26～) 鳥取県 ウィッグと乳房補整具の購入費補助事業を実施 (H28～) 秋田県 ウィッグと乳房補整具の購入費補助事業を実施 (H29～) 宮城県 ウィッグに限定した購入費助成事業を実施 (H30～) 茨城県 ウィッグと乳房補整具の購入費補助事業を実施 (H30～)					関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)						

## ふくい健幸美食 Next stage

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下 裕文																			
事業主体	県、県栄養士会				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 H30 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 H34 年度																				
事業実施方法	直営、委託																													
補助率	-																													
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献 ]				関連する県の計画等		[ 第4次元元気な福井の健康づくり応援計画 ]																							
<b>[事業目的]</b> 県民の適切な食生活を応援するため、県内の食品事業者と本県の健康課題を共有し、事業者自らが行う健康づくり活動を促進する。また、メタボ対策として主に働き世代をターゲットとする「ふくい健幸美食」に加え、特に高齢世代のフレイルや若い女性のやせ等、世代ごとの課題にも対応する「ふくい健幸美食」モデルメニューの活用法を普及することで、食環境の一層の充実を図る。																														
<b>[事業内容]</b>  (1) 「ふくい健幸美食」の認証と普及（888千円） 通年販売可能な「ふくい健幸美食」に対し認証証を交付し、メニューの普及を行う。  (2) 「ふくい健幸美食」モデルメニュー（やせ・フレイル対策）の普及（(2)と(3)で672千円） 「ふくい健幸美食」モデルメニューを活用し、若者や高齢者のやせ・低栄養予防のための啓発物を作成する。  (3) 「ふくい健幸美食」推進協議会の開催 「ふくい健幸美食」のさらなる普及と「ふくい健幸美食」モデルメニューの効果的な活用に向けた協議を行う。3回/年																														
[受益者] 食品事業者						[想定される受益者数]																								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 わがまち健康づくり応援事業（働き世代の「ふくい健幸美食」の普及・拡大） (実績)  「ふくい健幸美食」提供店舗数は年々増加し、290店舗となった。					市町との連携状況																								
<b>[事業の評価]</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">前年度の実績</th> <th style="width: 33%;">実績を踏まえた31年度の変更点</th> <th colspan="4" style="width: 34%;">事業評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3"> 「ふくい健幸美食」の認証条件は、H29までの味の週間(11月中の1週間)を中心とした販売から、H30は通年販売に切り替えを行った。その結果、提供店舗数は、(H29)290→(H30)201と、約3割減少したが、年間を通して「ふくい健幸美食」が購入できる環境が整いつつある。         </td> <td rowspan="3">           H30に県栄養士会と協力して開発した「ふくい健幸美食」モデルメニューを活用して、若者や高齢者のやせ・低栄養予防のための事業者向け啓発物を作成し、事業者の主体的な健康づくりの取組みにつなげる。また、必要に応じて「ふくい健幸美食」モデルメニューの改良を行い、若者や高齢者の健康対策に資するものとする。         </td> <td><input type="checkbox"/> 拡充</td> <td><input type="checkbox"/> 縮減</td> <td><input type="checkbox"/> 終期の見直し</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">見直し額</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 継続</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 完了</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 整理統合</td> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> その他</td> <td style="text-align: center;">△ 716</td> </tr> </tbody> </table>												前年度の実績	実績を踏まえた31年度の変更点	事業評価				「ふくい健幸美食」の認証条件は、H29までの味の週間(11月中の1週間)を中心とした販売から、H30は通年販売に切り替えを行った。その結果、提供店舗数は、(H29)290→(H30)201と、約3割減少したが、年間を通して「ふくい健幸美食」が購入できる環境が整いつつある。	H30に県栄養士会と協力して開発した「ふくい健幸美食」モデルメニューを活用して、若者や高齢者のやせ・低栄養予防のための事業者向け啓発物を作成し、事業者の主体的な健康づくりの取組みにつなげる。また、必要に応じて「ふくい健幸美食」モデルメニューの改良を行い、若者や高齢者の健康対策に資するものとする。	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> その他	△ 716
前年度の実績	実績を踏まえた31年度の変更点	事業評価																												
「ふくい健幸美食」の認証条件は、H29までの味の週間(11月中の1週間)を中心とした販売から、H30は通年販売に切り替えを行った。その結果、提供店舗数は、(H29)290→(H30)201と、約3割減少したが、年間を通して「ふくい健幸美食」が購入できる環境が整いつつある。	H30に県栄養士会と協力して開発した「ふくい健幸美食」モデルメニューを活用して、若者や高齢者のやせ・低栄養予防のための事業者向け啓発物を作成し、事業者の主体的な健康づくりの取組みにつなげる。また、必要に応じて「ふくい健幸美食」モデルメニューの改良を行い、若者や高齢者の健康対策に資するものとする。	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額																									
		<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了																										
		<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> その他	△ 716																									

## ふくい健幸美食 Next stage

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下 裕文			
事業主体	県、県栄養士会				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度
事業実施方法	直営、委託													
補助率	-													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	1,336	668			668	感染症予防事業費等国庫負担(補助)金								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点							
当初予算額の推移					2,052	1,336	H30に県栄養士会と協力して開発した「ふくい健幸美食」モデルメニューを活用して、若者や高齢者のやせ・低栄養予防のための事業者向け啓発物を作成し、事業者の主体的な健康づくりの取組みにつなげる。 また、必要に応じて「ふくい健幸美食」モデルメニューの改良を行い、若者や高齢者の健康対策に資するものとする。							
2月現計予算額の推移					2,052									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	低栄養傾向 (BMI20以下) の高齢者の割合の増加の抑制 (目標) 実績		14.2				2022年の目標値 14.2% (増加の抑制を目標とする)							
活動指標	ふくい健幸美食提供店舗数 (目標) 実績	(180) 224	(240) 252	(300) 290	(200) 201	(225)								
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)						

## 子どもの目の健康プロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課		課長名	宮下 裕文
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H24 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度	H34 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献 ]				関連する県の計画等		[ 第4次元気な福井の健康づくり応援計画 ]					
[事業目的]												
子どもの近視の進行については遺伝的な要因に加え、勉強時間・屋外活動時間等の環境的な要因も関連しているため、保護者や保育園・幼稚園等への啓発を行い、目の健康に優しい生活習慣の定着を図る。												
[事業内容]												
<p>(1) 保護者に対する指導 (H24～) 97千円 保護者向け小冊子を作成して、市町を通じ乳児の健診の機会等に配布し、子どもの目に優しい生活習慣について指導する。</p> <p>(2) 保育所・幼稚園での目のリフレッシュタイムの推進(H25～) (ゼロ予算) 保育所・幼稚園に対し、目に優しい「目のリフレッシュタイム」の実施を指導する。</p>												
[受益者] 5歳以下の子ども						[想定される受益者数] 約36,500人 ※平成30年7月1日時点の5歳以下人口(36,340人)より						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価				
裸眼視力1.0未満の割合は、小学生、中学生ともに増加 小学生 H28 32.0%→H29 34.2% (+2.2%) 中学生 H28 58.1%→H29 63.9% (+5.8%)				出生数の減少に伴い、対象人数を変更				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 89	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		



## 子どもの目の健康プロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下 裕文		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 区分	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務							
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	97				97								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点						
当初予算額の推移		605	191	191	186	97	出生数の減少に伴い、対象人数を変更						
2月現計予算額の推移		605	191	191	186								
決算額の推移		288	115	102									
前年度までの 主な増減理由	既存子育て世帯への配布が完了したため、新規世帯（出生数相当）の部数のみに削減（H28）												
[成果指標等の推移]													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	「目のリフレッシュタイム」 実施施設数	(目標) —	(目標) —	(目標) —	(目標) —	(目標) —	出生数に基づき、全ての子育て世帯へ配布						
		実績 207	実績 185	実績 183									
活動指標	指導した保護者数	(目標) (14,000)	(目標) (6,500)	(目標) (6,500)	(目標) (6,300)	(目標) (6,100)							
		実績 (15,000)	実績 (7,500)	実績 (7,500)									
他県の状況	[H29 裸眼視力1.0未満の子どもの割合] 石川県 富山県 ○小学生：32.2% (21位)    ○小学生：31.0% (14位) ○中学生：61.6% (37位)    ○中学生：52.1% (4位)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有    事業名    子どもの目の健康プロジェクト事業（小中学校） （役割分担）  （スポーツ保健課） 県内小中学校で「目の健康を守る3か条（1.姿勢をよくしよう、2.時々、目を休めよう、3.規則正しい生活をしよう）」の実践の呼びかけ等を実施					

## マイナス1歳からの歯の健康プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下 裕文	
事業主体	県、県歯科医師会				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H30 年度	事業終了 予定年度	H34 年度
事業実施方法	直営、委託								経過年数	2 年		
補助率	-											
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献 ]				関連する県の計画等		[ 第4次元気な福井の健康づくり応援計画 ]					
[事業目的]												
より早期からのむし歯予防対策として、妊産婦の無料歯科健診を実施し、乳幼児のむし歯予防対策についての啓発を行う。また、幼児期以降のむし歯予防対策として、フッ化物洗口や歯みがき習慣の定着を図る。												
[事業内容]												
<p>(1) 「フッ化物洗口」実施施設の拡大</p> <p>①保育所、幼稚園等未就学児施設におけるフッ化物洗口の拡大(A)</p> <p>②フッ化物洗口の実施が困難な施設では、園児と保護者を対象とした親子歯みがき教室の開催(B) 目標：(A)+(B)=100%</p> <p>④4、5歳児むし歯有病率調査 公的な統計のない4、5歳児のむし歯有病率を県独自に調査し、フッ化物洗口の効果について評価する。</p> <p>(2) マイナス1歳からのむし歯予防事業</p> <p>①妊産婦無料歯科健診の実施 目標：受診率30%</p> <p>②母子手帳に、妊産婦歯科健診の受診券を追加</p>												
[受益者] 4歳～小学生以下の子ども、妊産婦						[想定される受益者数] 約12,500人						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「8020運動」推進事業 子どもの歯の健康プロジェクト事業 (実績) 妊産婦歯科健診受診率 18.1% (1062人) フッ化物洗口施設実施率 40.8% (4,315人)				市町との連携状況		母子手帳交付時に妊産婦無料歯科健診のチラシを配布 市町児童福祉主管課を通じてフッ化物洗口の実施を呼びかけ				
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価				
むし歯有病者率は、3歳児・小学生・中学生とも減少 3歳児 H26 17.3%(13位)→H27 17.2%(17位) (-0.1%) 小学生 H27 59.7%(39位)→H28 57.4%(37位) (-2.3%) 中学生 H27 52.5%(44位)→H28 49.5%(45位) (-3.0%)				県による啓発用ポスター作製を中止				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 266	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## マイナス1歳からの歯の健康プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下 裕文			
事業主体	県、県歯科医師会				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	H30 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H34 年度
事業実施方法	直営、委託													
補助率	-													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	9,494	1,069			8,425		医療施設運営費等補助金							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点							
当初予算額の推移					9,760	9,494	県による啓発用ポスター作製を中止							
2月現計予算額の推移					9,760									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	小学生のむし歯有病率(%) (目標) 実績	-	-	-										
		59.7	57.4	56.8										
活動指標	フッ化物洗口施設実施率 (%) (目標) 実績	-	-	-	(47.7)	(51.1)								
		31.1	37.9	40.8										
他県の状況	[H29 むし歯のある小学生の割合] 全国：47.0%				関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							

## 風しん抗体検査助成事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課		課長名	宮下裕文	
事業主体	県医師会				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32 年度	
事業実施方法	委託												
補助率	-												
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [なし] 政策 [ ]				関連する県の計画等		[ ]						
[事業目的]													
平成25年の風しんの流行により、全国で14,000人を超える風しん患者（福井県20人）と26名の先天性風しん症候群が報告され、平成20年の全数把握調査開始以降、最大の流行となった。妊婦が風しんに感染すると、胎児に先天性の障害が生じる先天性風しん症候群が発生することがあることから、風しんの免疫が不十分な妊婦への感染を予防するため、予防接種が必要である風しん感受性者を効率的に抽出するための風しん抗体検査を医療機関で実施する。													
[事業内容]													
<p>先天性風しん症候群の予防のために、妊娠を希望する女性およびその周囲の男性に対して、予防接種が必要である風しん感受性者を効率的に抽出するための抗体検査を県内の医療機関において実施し、その費用全額を助成する。</p> <p>対象：検査を希望する女性およびその周囲の男性のうち、福井県内に居住地を有する者（福井市を除く）であって、次のいずれにも該当するものとする。</p> <p>(1) 検査の結果、抗体価が低い場合、風しんの予防接種を希望する。</p> <p>(2) 過去に風しんの抗体検査を受けたことがある者でない。</p> <p>(3) 明らかに風しんの予防接種歴がある者でない。</p> <p>(4) 検査で確定診断を受けた風しんの既往歴がある者でない。</p> <p>実施医療機関は、検査実施者に抗体検査結果を告知するとともに、本人の希望の下、風しんの予防接種を行う。</p> <p>実施医療機関は、福井県医師会に検査費を請求し、福井県医師会は、実施医療機関の請求を取りまとめたうえで、検査費および手数料を県に請求する。県は福井県医師会に検査費および手数料を支払い、福井県医師会は実施医療機関に検査費を支払う。</p>													
[受益者] 妊娠を希望する女性とその子						[想定される受益者数] 561							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況		・全市町の住民課（婚姻届出）窓口で事業の周知、市町広報誌等への掲載 ・一部市町において、県の抗体検査で予防接種が必要と判断された者に対して予防接種費用の一部を助成					
[事業の評価]													
前年度の実績			実績を踏まえた31年度の変更点				事業評価						
全ての市町で事業の周知がされており、検査を希望された方のほぼ全員が予防接種を実施した。			今年10月までに全国で1486人の風しん患者（福井県3人）が報告され、その8割を男性が占めている。本事業の終了予定は平成30年度であるが、風しんに関する特定感染症予防指針（厚生労働省）では平成32年度までに風しんの排除を達成することを目標としているため、終了年度を平成32年度に延長したい。また、妊娠を希望する女性とその周囲の男性に対象者を拡げたい。				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
							<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

## 風しん抗体検査助成事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	健康福祉部	課名	健康増進課	課長名	宮下裕文		
事業主体	県医師会					事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H26 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	H32 年度
事業実施方法	委託												
補助率	-												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	3,924	1,890				2,034	感染症予防事業費等国庫負担(補助)金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	実績等を踏まえた31年度の変更点						
当初予算額の推移		4,170	3,475	2,621	2,425	3,924	抗体検査利用者見込数を実績に基づき積算し、対象者を拡充するため増額した。						
2月現計予算額の推移		2,682	2,216	2,621	9,264								
決算額の推移		1,649	1,631	1,912									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	低抗体価者の予防接種実施率(%)	(目標) 実績	(100) 80	(100) 84	(100) 88	(100) (100)	検査の結果、抗体価が低かった者のうち予防接種を実施した者の割合 予防接種実施者/低抗体価者						
活動指標	抗体検査利用者数(人)	(目標) 実績	(389) 289	(500) 288	(376) 342	(347) (561)	目標：対象者を拡げるため増加						
他県の状況	秋田、茨城、兵庫、広島、徳島、佐賀、大分、宮崎、沖縄県を除く38の都道府県で実施					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					